

## 過去の災害地や想定される災害を学ぶフィールドツアーについて

### 1. 現状と課題

近年、日本全国で自然災害が多発化し、その被害も激甚化・多様化する中、市では、地域防災力を高めるため、家庭での備蓄に対する取り組み、防災士協議会の設立、自主防災組織の組織化の推進等、自助・共助の取り組みに重点を置き、防災・減災に対する対策を進めてきており、住民の防災に対する意識も高まりつつあります。

しかしながら、これからの地域防災力を強化するうえで、次世代を担う若者世代における防災意識の向上が課題となっています。

### 2. フィールドツアー実施の目的

このフィールドツアーは、大分大学減災・復興デザイン教育研究センターの主催で行われ、昨年度の日田市での開催に続き、大分県下で2回目の開催となります。

フィールドツアーでは、市内の高校生に自分達の住む地域で過去にどのような災害が発生し、さらに今後想定される災害について考えてもらうことで、防災に関心を持たせ、これからの地域防災力の強化を図りたいと考えています。

さらに、次世代を担う若者から市への提言として、これらの成果を令和2年1月26日に開催予定の減災シンポジウムで発表し、参加する市民の皆様に対しする防災・減災意識の醸成も図ることになっています。

### 3. フィールドツアーの内容

開催日 令和元年11月16日（土） 9時00分から

行程 9:00 中津北高校集合・出発 ※予定は変更することもあります。

10:00 耶馬溪公民館（無降雨時災害）

11:00 出発

11:30 青の洞門周辺（山国川における豪雨災害）

～ 昼食 ～

13:00 出発

13:40 三光地区上田口公民館（データアーカイブ過去の災害からの教訓）

14:40 出発

15:10 中津市内（中津市中心地における災害想定） ※場所は調整中

16:00 中津北高校到着・解散

### 4. 参加者

- ・中津市内の高校生 10名程度（1・2年生）
- ・大分大学学生 20名程度（学部問わず）
- ・その他関係者

※裏面に参考写真を添付しています。

#### 【問合せ先】

総務部防災危機管理課 門脇・小屋野  
(TEL:0979-22-1111 内線271)

### 八面山大池の決壊による災害（三光）



慰霊碑



慰霊碑



決壊した八面山大池



被災した田口地区の様子